

第3学年1組 特別の教科道徳 学習指導案

主題名 コミュニケーションの原点を見つめて

B-(9) 相互理解, 寛容 関連する内容 自主, 自律, 自由と責任

教材名「心にしみこむ“言葉”の力」

男子17名 女子17名 計34名

指導者 住吉 真也

主題について

ねらいとする価値

中学校学習指導要領 特別の教科 道徳編 第3章 内容項B-9 相互理解, 寛容 「人に気持ちを伝えたりコミュニケーションをとったりすることの難しさに共感することを通して、人それぞれの個性や立場を尊重し、謙虚に学び、広い心を持とうとする態度を育てる。」に関わって主題を設定した。

自分の考えや意見を人に伝えることは、よりよい人間関係を築き、相互理解を深めるために重要である。相手の話を十分聞き、気持ちを理解しながらこちらの思いを伝えて、お互いの心を通じ合えるコミュニケーションが大切であることに気付かせたい。

生徒の実態

本校3年1組を対象とした事前アンケート（回答者数32名）において、「自分の意見や考えを積極的に伝えることができているか。」について肯定的回答をした生徒は84.3%であった。ほとんどの生徒が自分の意見を他者に積極的に伝えることができている。一方で他者から謙虚に学ぶ姿勢が見られなかったりすることもある。

教材について

この教材は、メディアで活躍している池上彰氏が、報道記者として経験してきたことをもとに、「伝える」ことの難しさや大切さについて述べたものである。

他者との関わりの中で多様な考えに触れることで、自分の考えの狭さに気づき、他者の立場や考え方を尊重することが大切である。

考え、議論する道徳科の時間を充実させるために

○ 道徳的価値を捉え、自己の生き方を深める発問の工夫

導入部分でアンケートについて触れ、現状を把握し、その結果やコミュニケーションで困っていることを通して、ねらいとする価値への方向づけを行う。

展開部分では、教材「心にしみこむ“言葉”の力」を読んで池上さんが読者に分かってほしいことはどんなことかについて考える。その考えから、まず相手の話をよく聞くことが自分の気持ちを伝えるためになぜ大切なのかを視点として交流させる。その際、そのように考える理由を明らかにし全体で交流することで、多様な考えの違いに気付かせる。

展開後段では、相手の話をしっかり聞くために大切なことはどのようなことなのかをグループごとに考えさせ、交流させる。

本時の学習

(1) ねらい

人に気持ちを伝えたりコミュニケーションをとったりすることの難しさに共感することを通して、人それぞれの個性や立場を尊重し、謙虚に学び、広い心をもとうとする態度を育てる。

(2) 学習の展開

過程	学習活動	◇指導上の留意事項
導入	<p>○主な発問 △補助発問 ■予想される生徒の心の動きや反応</p> <p>1 作者について知る。</p> <p>○池上彰さんのことを知っていますか。 アンケート結果「自分の意見や考えを積極的に伝えることができますか。」について知る。</p> <p>○コミュニケーションをとる際に困っていることはありますか。 ■人の話を最後まで聞けない。 ■順序立てて話せない。</p>	<p>◇池上さんの写真を拡大提示する。作者に興味を持たせるために、全体に問いかけ、つぶやきを拾う形で発言しやすい雰囲気を作る。</p>
展開前段	<p>2 「心にしみこむ“言葉”の力」を読んで話し合う。</p> <p>○この文章で、池上さんが読者に分かってほしいことはどんなことか。 ■自分の気持ちを伝えるためには、まず相手の話をよく聞くことが大切であること。 △なぜ聞くことが大切なのか。</p> <p>○今まで自分は、自分の気持ちを伝えるために、まず相手の話を聞くことをしてきたか考えよう。 ■自分の言いたいことばかりを言って、相手の話をよく聞くことをしてこなかったように思う。</p> <p>◎池上さんは、相手の話を聞くことが大切だと言っているが、しっかり聞くために大切なことはどのようなことだろう。(ワークシート①配る)</p> <p>ワークシート→グループ (ホワイトボード) →発表</p> <p>■相手が何を言いたいかを理解しようとする前向きな気持ち。 ■まず自分の言いたいことは後回しにして、聞く側にまわる。 ■相手の言うことに共感しようという気持ちをもつ。 ■私はあなたの言いたいことを分かってほしいという態度で聞く。</p> <p>○おたがいの考えや気持ちを、よりよい形でうまく相手に伝えるためには、どのようなことが大切だろう。</p> <p>ワークシート→グループ (ホワイトボード) →発表</p> <p>■思いやり。</p>	<p>◇会話調の文章なので、語るように範読する</p> <p>◇教科書 p. 171、5行目「よき伝え手とは、よき聞き手である」、p. 172、23行目「自分の感情を客観的にコントロールしながら伝え合う」という部分をキーワードにして考えさせる。</p> <p>◇「司会カード」(教科書 p. 3) に従い、司会者に進行させる。</p> <p>◇自分の意見と友達の意見を比べ、確かめ合うことで考えを深める。</p> <p>◇グループで話し合い、一語で端的に表すように指示する。</p>

過程	学習活動	◇指導上の留意事項
	○主な発問 △補助発問 ■予想される生徒の心の動きや反応	
	<ul style="list-style-type: none"> ■待つこと。 ■優しさ。 ■共感。 ■まず相手の話を聞くこと。 ■根気。 ■違いを認め合うこと。 	
展開後段	<p>3 本時のまとめをする。 今日の学習を振り返り、学んだこと、考えたことをノートに書こう。</p>	◇ノートに書いたことを、数人の生徒に発表してもらおう。

(3) 板書計画

コミュニケーションのキーワード

相手の話をしっかり聞くために大切なこと

- ・ 相手が何を言いたいかを理解しようとする前向きな気持ち。
- ・ まず自分の言いたいことは後回しにして、聞く側に回る。
- ・ 相手の言うことに共感しようという気持ち。
- ・ 私はあなたの言いたいことを分かるうとしていますよという態度。

自分の気持ち伝える

↓

相手の話をよく聞く

- ・ 相手はどういう気持ちでいるのか。
- ・ 相手のことを理解しようとし心を通じ合わせる。

板書計画
コミュニケーションの原点を見つめて

「心にしみこむ『言葉』の力―池上彰」

今日の授業のキーワード 相互理解